

令和5年度 行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会等名	議員定数研究委員会
参加議員	◎土屋勝浩 ○半田大介 池田総一郎 宮下省二 古市順子 佐藤論征 西沢逸郎

◎議長、○副議長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市議会の議員定数は現在 30 となっているが、4 年前に議員が 1 名辞職したことから 29 名で前の期は約 3 年間議会が運営されてきた。今期も昨年 3 月の改選において 30 名でスタートしたものの、この 1 月で 1 名の議員が辞職し、29 名で残る 3 年の任期を運営していくことになる。

長野県内では松本市が人口 236,000 人で議員定数が 31 という状況からみて、上田市が人口 156,000 人で議員定数 30 というのはバランス的にどうかという議論もある。今期、議員定数の議論は不可避であるということから、議員定数研究委員会が設置され、同規模市である栃木県栃木市の視察研修を行った。

2 実施概要

実施日時	視察先	栃木県栃木市
令和5年10月19日 13:15~14:45	担当部局	議会事務局
視察事業名	議員定数について	
報告	<p><u>1 栃木市概要</u></p> <p>人口 158,397 人 世帯数 65,995 面積 331.50 km² 老年人口比率 31.45%</p> <p><u>2 特色</u></p> <p>県南部に位置し、2010 年以降 5 町が順次合併し現在の姿に。江戸時代には例幣使街道の宿場町で商業のまちとして栄え、現存する蔵の街並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定。東部から南東部の平坦地は県内有数の農業地帯で、米や施設野菜、イチゴなどを生産。 また高速網が整備され、電気機器、輸送機器などの工場も立地している。</p>	

3 視察の内容

【1】議員定数見直しの背景と変遷

○見直しが求められる背景

議会機能の維持と行財政改革（議会運営の効率化・経費削減など）の両方の視点が必要である。

○議員定数の変遷

H26.4月～：34人⇒H30.4月～：30人⇒R4.4月～：現定数28人

【2】検討の経過

R2年7月 議員定数検討委員会の設置（議長の諮問機関）

R2年7月～R3年1月 7回の委員会で検討し、議長に報告書を提出この間に

R2年7月、12月 議員からの意見聴取（アンケート等）

R2年8月～9月 市民会議全体会（書面会議）における意見聴取

*市民会議とは・・・自治基本条例が機能しているか検証するため、学識経験者等70人以内で組織。各地域から選出されている。

R2年11月 議員全員協議会（中間報告）

R3年1月 議員全員協議会（議員定数検討結果報告書の説明）

R3年2月 第8回検討委員会

R3年3月 本会議へ議員提案により改正案（定数2減→28）提出採決⇒賛成19，反対9で可決

R4年4月 定数28（△2）で市議選を実施

【3】議員定数見直しにおける3つの視点

視点1 データによる分析

人口推計・・・今後も人口減少が見込まれる

財政状況・・・厳しい財政状況が見込まれる

類似団体等の比較・・・議員定数平均より若干多い

視点2 議会機能による分析

見直し前の議会の現状について、議会機能が十分果たしているか協議
・行政監視機能 ・政策形成機能 ・議会運営機能 ・民意吸収機能
⇒議会運営及び市民生活の支障の出ない体制が構築されている。常任委員会（委員数8人と7人で4委員会）の運営にも支障はなかった。
⇒定数削減後は、7人で4常任委員会（議長は委員会のメンバー）

視点3 市民を含む第三者機関の客観的な評価等を参考とする（議会基本条例に義務付けている。）

市民会議の主な意見（過半数が減らすとの意見）

・増やす・・・合併により、市民の声が届きにくくなった。

・現状維持・・・一体感はまだ低いので、しばらくは現状維持

・減らす・・・人口減少、財政状況を考慮すると削減は必要

	<p>■質疑応答</p> <p>Q) 議員報酬や政務活動費の検討は行われたか。意見はあったか。</p> <p>A) 実施されていない。今のところ意見はない。</p> <p>Q) 委員会審査にどのような影響があったか。</p> <p>A) 特段ないと感じている。</p> <p>Q) 議会事務局体制はどうか。</p> <p>A) 局長、議事課長、係長、職員で11名である。</p>
<p>考 察</p> <p>(まとめ: 市政に活かせると思われる事項等)</p>	<p>栃木市は何度か合併をされており、その度に議員定数の見直しが行われています。</p> <p>見直しにおける3つの視点が明確に示され、熱心に検討されており、大変参考になりました。</p> <p>上田市でも、今後市民の意見をどのように聞いていくかも検討していかなければなりません。</p> <p>また、議会機能による分析は、議会のあり方を考える上で、議員定数研究委員会としても行う必要があると感じました。</p> <div data-bbox="561 1079 1093 1476" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="721 1541 1270 1948" data-label="Image"> </div>

※視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと

令和5年度 行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会等名	議員定数研究委員会
参加議員	◎土屋勝浩 ○半田大介 池田総一郎 宮下省二 古市順子 佐藤論征 西沢逸郎

◎議長、○副議長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市議会の議員定数は現在 30 名ですが、4 年前に県議選出馬のため議員 1 名が辞職し、更に改選後も同様の理由で議員 1 名が辞職し、現在 29 名により議会を運営している。県内では松本市が人口 236,000 人で議員定数が 31 名であり、上田市が人口 156,000 人で議員定数 30 名という都市間における検討も必要となっている。こうしたことから議員定数の検討が必要不可欠なため、福島県白河市に視察研修を行い、今後の定数削減の検討にしたい。

2 実施概要

実施日時	視察先	福島県白河市
令和5年10月20日(金) 9:00~11:30	担当部局	議会事務局
視察事業名	議員定数について	
報 告	<p><u>1 白河市概要</u></p> <p>人口 60,110 人 世帯数 25,072 世帯 面積 305.32 km² 老年人口比率 29.50%</p> <p><u>2 特色</u></p> <p>住みよさランキング総合 81 位の福島県の都市。福島県南端に位置し、栃木県と接する。阿武隈川をはじめとする多くの河川が縦横に流れ、田園風景が広がる。奈良から平安時代に白河関が置かれ、みちのくの玄関口としての役割を果たした。城主には、老中首座として寛政の改革を行った松平定信は、領民にも名君として親しまれている。</p> <p>近年は、高速交通網が整備され、首都圏とのアクセスが良く、製造業の集積が顕著となっている。</p> <p>また、東日本のインフラ拠点となる大規模データセンターが立地されている。</p>	

3 視察の内容

【1】議員定数について

■経過

H17年11月7日 新市誕生時の議員定数 64人

H19年 在任特例後に行われる最初の一般選挙の議員定数 30人

H22年3月26日 平成23年選挙時の議員定数は 26人

H30年3月23日 令和元年選挙時の議員定数は 24人

平成29年3月定例会において「白河市議会のあり方を検討する特別委員会」から、議員定数について、現状維持と削減の両論の意見が報告された。

これを受けて、平成30年3月31日までの期間、議員定数に関する調査研究を行うことを目的に特別委員会が設置された。構成員12名、設置日平成29年9月29日（9月定例会最終日）

平成30年2月16日 第6回特別委員会において、賛否両論を併記して議会に報告すべきとの決定をみた。また、削減か現状維持の結論をまとめることはなじまず、削減する場合は賛同する議員が連名で、議員発議による条例改正案を提出すべきことを報告し、委員長報告をもって委員会が消滅終了することを確認。

平成30年3月23日 定数削減に賛同する議員6名から議員提出議案「白河市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が提出され、質疑、反対と賛成の討論があり、賛成多数で可決された。

■定数削減後の影響

○常任委員会

- ・委員会数は変わらず4常任委員会
- ・委員数は（総務7人、市民産業7人、教育福祉6人、建設水道6人）から、定数2名削減後は（総務6人、市民産業6人、教育福祉6人、建設水道6人）となる。議長は、委員が産休に入るため今期は総務委員会に所属する。

■質疑応答

（問）定数の削減を行った理由は何か。

（答）市民意識調査の結果、約4割の市民が現在の議員定数が多いと回答していること。全国や県内の類似団体の市議会の議員定数の平均を上回ることから、定数削減は避けて通れないものと判断した。また、人口減少への対応としての意見があった。

（問）定数の検討（議論）をどのように進めたか。

（答）平成29年9月定例会において「市議会議員定数検討特別委員会」を設置し、6回の会議を開催し協議を行った。

(問)現在の定数とした理由(根拠)は何か。

(答)議員定数については、「現状維持」と「削減」の両論の意見があり、削減数は2名、4名、6名の意見が出されたが、「多様な市民のニーズを行政に反映させるためには、むやみに議員定数を削減すべきではない」との意見もあり、削減数を2名とした。

(問)定数の検討を進めるにあたり、重視した点は何か。

(答)市民の意見を精査分析すること。報告の期限を平成30年3月までとすること。次回の選挙(令和元年7月)に備えて、1年前には結論を出すこと。

(問)定数の検討を進めるにあたり、市民意見はどのように聴取したか。また、その意見をどのように反映したか。

(答)「市議会議員定数検討特別委員会」において「白河市議会に対する市民意識調査(平成28年6月から7月実施)」、「地域活性化協議会委員」による「市議会に対する市民意識調査(平成28年10月実施)」を改めて精査分析を各会派で行い、各会派からの最終的な意見として報告された。

(問)定数の検討を進めるにあたり、議員報酬や政務活動費の検討を合わせて行ったか。あるいはそのような意見はあったか。

(答)具体的な検討は行っていないが、議員報酬や政務活動費を含めて議論すべきとの意見や今後選挙に出る若い人たちのために報酬の増額を検討すべきとの意見があった。

(問)定数削減後の議会運営について、どのような影響を想定されたか。

(答)特別委員会の協議の結果、賛否両論を併記して議会に報告すべきとの決定をみたことから、定数削減後の議会運営への影響の想定は行っていない。

(問)定数削減に対する市民の反応や評価はどうか。

(答)議員定数削減後、市民への意識調査等を行っていない。

【2】削減後の議会運営について

(問)常任委員会の構成について、変更はあったか。あったら構成の考え方についてご教授ください。

(答)ない。前述冒頭部分の ■定数削減後の影響 に記載。

(問)本会議の運営や、委員会の審査において、どのような影響があったか。

(答)ない。本会議の会期への影響、委員会審査時間や審査日程への影響について確認したものではありません。

	<p>(問) 執行機関への影響はあったか。 (答) ない。執行機関への影響について確認したものではありません。</p> <p>(問) 削減後の議会運営について、市民から意見等はあるか。 (答) 議員定数削減後、市民への意識調査は行っていない。</p> <p>(問) 課題はあるか。 (答) 議員定数削減後の会議で、議題となった課題はありません。</p> 
<p>考 察</p> <p>(まとめ:市 政に活かせ ると思われ る事項等)</p>	<p>上田市の議員定数は、平成 22 年施行の選挙から 30 名で推移しています。この間、2 期にわたり議員 1 名の議員辞職により、29 名での議会運営となっています。また、1 名の療休もあり、次期改選後の委員会数及び委員数の在り方についての検討が求められています。</p> <p>議会報告会などにおいて、市民からも上田市議会の議員適正数に対する質問が出されておりますことから、関心の高さが伺えます。</p> <p>今期は議会改革という観点から、議会内に議員定数研究委員会が設置され、県外等における取り組みを参考に定数の見直しに向けて考察を行い、取り組んで参ります。</p> <p>今回の視察で様々なご教授をいただいた白河市議会様には心より感謝申し上げます。</p> 

※視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと